

器楽の教科書 ラヴァーズ コンチェルト p13 下 <u>A1 のみ</u>	①下の楽譜の（ ）内に、 <u>適切な強弱記号を書き入れる</u> （音が上がる時はだんだん大きく、下がる時はだんだん小さくなど、 <u>吹きながら確認</u> して、 <u>自然な強弱記号</u> を書き入れる。） ②5月12日に配ったリコーダーのプリントを参考に <u>アレンジと上記の強弱を加えて練習</u> をし、 <u>いつでも録音が録れる状態まで仕上げる</u> 。	3年 音楽の課題 5月25日～ <u>（5月26日の登校日に鑑賞のプリントと、ミニテスト2・3を持ってくること、リコーダーのアレンジプリントは、新学期まで練習のために使い、新学期に持ってくること）</u> ○アレンジが出来ない人も、1つは強弱を加えて（書き入れて）から、練習してみましょう。 ○授業中電子ミニキーボードで音を確認していきます。 ○6月以降にリコーダーテストを <u>1人ずつ録音</u> し、姿勢や音のポイントを追加指導していきます。	
---	--	--	--

ラヴァーズ コンチェルト D.ランデル・S.リンザー作曲

Moderato

1. 2.

＜反復記号の復習＞

||: :|| リピート記号 範囲内を（この場合は最初から）繰り返す

1. 2. 1 括弧、2 括弧 1 回目、2 回目に弾く

音楽の 教科書2下 p54 ふるさと （p55は 省略）	③下記にある <u>クラスのふるさとの4番の歌詞を1つ選び</u> 、理由も書く。 ④ふるさとを <u>毎日朝・夕1回ずつ歌って、全部の歌詞を暗譜</u> して歌う。（ <u>パートを変えて歌える人は、ソプラノ、アルト、テノール（男子で高い声の人はこれ）、バス（男子で低い声の人はこれ）</u> で練習する。	○歌う（吹く）時間帯はあまり遅い時間にならないように、気をつけましょう！（参照演奏は <u>特設合唱部</u> 、 <u>吹奏楽部</u> です。） （○ <u>担任賞</u> で選ばれたふるさと4番は、 <u>特設合唱部</u> のHPにて、 <u>歌付きで紹介</u> しています。）	○クラスのふるさとの4番の歌詞を全員の投票結果で決め、新学期以降クラスごとの練習に活用します。 ○今週はミニテストを出しませんので、初回の授業では、 <u>強弱記号を記入してこのページと、ふるさと4番を選んだクラスページ、リコーダーのアレンジプリントの3枚</u> を提出してください。
---	---	---	--

♪ ふるさと4番 担任賞の発表 ♪

↓担任賞は、**特設合唱部 HP にアップ**しました♪

<3年1組 担任賞 おめでとう!> 時はめぐり 帰って 昔駆けし 山川 面影残す 友の笑顔 今も変わらぬ 故郷	<3年1組 次点 すごいね!> 友と行った あの店 よく笑った 学び舎 今もそこに あるかな ひとつだけの ふるさと
<3年2組 担任賞 おめでとう!> 僕を勇気づける かの山 僕を鼓舞する 彼の川 いつでも今でも 心の支え ありがとう ふるさと	<3年2組 次点 すごいね!> 時は流れ 帰ろう 夢叶えた 今こそ 星が光り きらめく 笑顔絶えぬ ふるさと
<3年3組 担任賞 おめでとう!> 思い返す 我が友 共に過ごして きた日 校舎に響く 笑い声 心癒す ふるさと	<3年3組 次点 すごいね!> 胸膨らませ 列車で みんなの顔を 思い出す 帰ってきたよ ふるさと 今も変わらず ふるさと
<3年4組 担任賞 おめでとう!> 手賀の水も 輝く 緑溢れ 花咲く 夜空の花も 光満ちて 友の笑顔 集まる	<3年4組 次点 すごいね!> 懐かし日を 夢見て 昔のことを 思い出す 夢を見ていた あの頃 懐かしく思う ふるさと
<3年5組 担任賞 おめでとう!> 大きな夢を 抱いて 今巣立つ 学舎 友との日々を 忘れずに 輝く我が ふるさと	<3年5組 次点 すごいね!> 遠く見える 筑波山 緑生える 手賀沼 心は今も ふるさと 大切な場所 ふるさと

☆**名前は出さず**に、担任の先生方に皆さんの書いた詩から心に残ったものを**直観で**選んでいただきました!

ふるさとの1～3番を加味し、その続きの歌詞を創造した人や、今のコロナの現状で辛い日々を照らし合わせて考えた人もいました。

どの担任の先生方も、「友」を思い返した言葉に学校生活を想起して、上記の詩を1位に選ばれていた気がしました。

さあ、皆さんでしたらどれを選びますか?
まだ出していない人は26日中に提出しましょう!
 今週中に皆さんも自分のクラスの中から、クラス
のふるさとを選んでみてください。(ですから敢えて上記の選ばれた作品の作者名は書きません! 本人だけは…分かっていますね、本当におめでとう!) 6月の初回の授業で集め、クラスのふるさとを決めたいと思います♪

※名前が無かったり、他の教科に混ざって提出してしまったりした人の詩が、他のクラスに混ざっている可能性があります。ごめんなさい。

♪ 皆で選ぼう 3年1組のふるさと ♪

3年 組 番 名前

手賀沼の かっぱに そのべの園 真っ赤な苺 地味で可愛い うなぎちゃん 素晴らしいかな 我孫子	懐かしき 田畑よ 虫達は踊る 今はもうない ふるさと 瞳閉じて 思うよ	非日常で ふと気づく 友や学びの ありがたさ 永久に続け 幸せ わがふるさと 我孫子市	ふと見上げた この空 目をつむれば あの空 夢を胸に 抱ひて ほこり高き ふるさと	跡形もない この村 耕す音 聞こえず けれど懐かしの わが家だけは 迎えてくる ふるさと	帰る家が あること きっとそれは 愛だよ 暑い夏の日も 曇りの日も みなで一緒に 乾杯
コロナ憎い ウィルス 自由と命 奪った 早い終息 願いて 早く平和 来たれよ	帰り来たよ ふるさと はるか思い出 蘇り 心安らぐ 温かさ ここに生きん ふるさと	遠く見える 筑波山 緑生える 手賀沼 心は今も ふるさとに 大切な場所 ふるさと	友と行った あの店 よく笑った 学び舎 今もそこに あるかな ひとつだけの ふるさと	夢に見てた この日を あの自然は あるかな いつかの思い出 蘇る ここで生きる ふるさと	あいさつ 日本一 如何にいます 先生 志を 果たして いつの日にか 帰らん
ふるさとへ 帰りに 優しき 父母 夢は今 叶って 今も清き ふるさと	鳥と自然 手賀沼 河童も一緒に 遊ぼう 文人たちの 夢の郷 みんな幸せ 故郷	夢にも見た ふるさと 川や山を 見渡す 昔の僕が 目に浮かぶ 思い出の ふるさと	とうとう夢を 果たして 懐かしや ふるさと 川や山を 久しく見て 忘れ難き 故郷	白鳥群れし 手賀沼 偉人多き 我孫子の 見渡す田畑は 果てしなく 緑多き ふるさと	授業眠し 学校 昼夜逆転 休校 夢は覚めると 辛くて 目覚め難き お昼寝
思い出す 我が友 校舎中に 響く声 共に歩いて 来た日 懐かしい ふるさと	時はめぐり 帰りに 昔駆けし 山川 面影残す 友の笑顔 今も変わらぬ 故郷	久しぶりと やまびこ みんな笑顔で 出てきた ぼろりと出てくる 涙を 清き水に 流した	夢を叶え 帰りに 父や母や 友がき あれから月日は 流れたけれど 今も私の ふるさと	志しを 果たした もうすぐさま 帰らん 父母の待つ あの家へ 美しき ふるさとへ	早くウィルス 無くなれ 自粛生活 疲れた 部活学習 頑張りたい 忘れ難き 学校
志しを 果たして 今から 帰ろう 空に白き ふるさと 懐かしき ふるさと	晴れて戻る この道 父や母を抱き合い 友と語る 喜び 愛おしき ふるさと	戻って来た 我孫子に いつも見てた 手賀沼 我孫子の市民は 温かいよ 懐かしいな ふるさと	帰り来たよ ふるさと 我孫子の人 皆優し やよい軒今も テレビに出て ここに生きん ふるさと	暇が多了 休校期間 外に出れず 家の中 早く学校に 行きたいのに 休校延長 つまらない	戻ってきたよ 我が故郷 なつかしい 景色だな 沼の水の 輝き感じ ここが私の ふるさと
夢を追いつ 若者 あり溢れる 元気 錦の御旗を 高々掲げ 帰れるかな ふるさと	帰り来たよ ふるさと 富山の人 皆優し 立山新通 輝いて ここに生きん ふるさと	ついに到着 あの町 皆のものは 変わらん 空も森も 美しき 全て清き ふるさと			

良かった歌詞に○を付けてください。【選んだ理由】（ ）

♪ 皆で選ぼう 3年2組のふるさと ♪

3年 組 番 名前

家に帰る 道中 色を添える 花たち 彩り豊かな この町 懐かしき 故郷	ふるさとに 帰らん 新味をして 楽しく 皆楽しく 喋りて 家は楽し ふるさと	志を 果たして ついに家に 帰るぞ 村は今も 栄りて とても豊か 故郷	父母待つ 故郷へ 今日は遂に 帰ります 山は照らされ 輝く小川 夕日沈む ふるさと	帰り来たよ 富山に 懐かしき この町 顔を上げて 見てみれば 今は同じ ふるさと
山は高さ 大きい 川は広い 長いな 海はずっと 青いままで 忘れ難き ふるさと	僕を勇気づける かの山 僕を鼓舞する かの川 いつでも今でも 心の支え ありがとう ふるさと	兎見えて ただいま 山も水も 綺麗だ 志も 果たしたので いざ帰ろう ふるさと	待ちに待った この時 ただいま 父母 夢は遂に 叶いて 古き良き ふるさと	三か月の 休校 ストレス溜って 八つ当たり ゲームの時間は 終わるのに 宿題は全く 終わらず
感謝堪える 我が地よ 過ぎる時が 一瞬 さよなら我が 心の源 永遠に忘れぬ ふるさと	ボール追いかけ 手賀沼 いうかここを 出てけば 変わってゆく 街並み 思い出よき ふるさと	悩み多き 青春 互い助け 合う日々 いつの日か 良き思い出 我が心の ふるさと	自然に 恵まれ 皆の声が 響いて 輝く我らの ふるさと 緑多き ふるさと	帰り着きし ふるさと 思い出すや かの頃 今は見れぬ 記憶の中 影は残し ふるさと
友と笑う あの頃 振り返れば 思い出 今は机に 向かいて 元に戻れ ふるさと	故郷を出 夢見る 人は誰も 夢見る 友と語った あの夢 思い出ある ふるさと	美しきや 花々 緑揺れる 山々 真っ赤な夕焼け 涙こぼれ 思い出すよ あの頃	変わり映えぬ この街 思いふけた あの頃 遂にこの日を 迎えられる ずっと忘れね ふるさと	今この地を 離れて 田舎の地へ 帰ろう 家族友人 大切な人 ただいまよ 故郷
青葉茂る あの森 鳥がさえずり 風吹く 今は穢い 手賀沼 いつか清く 手賀沼	時は流れ 帰ろう 夢叶えた 今こそ 星が光り 煌めく 笑顔絶えぬ ふるさと	今帰らん わが里 待ち焦がれた この日よ 変わらないか あの道 懐かしき ふるさと	今戻りし ふるさと 変わり多い 前より 夢を叶え 喜び 歓喜溢れる ふるさと	志を 抱いて いつの日にか 行かねば あの都へ 旅立つ 懐かしい ふるさと
時は流れ 年若い 生まれた地に 戻らん 荒れた家を 直して 隠居生活 楽しむ	遠く離れ 暮らした みんな笑顔 嬉しい 帰ってきたよ 元気です 変わらない ふるさと	春に来たる 出会いと 顔を上げて 思えば またたく間に 流れゆく日は 懐かしい友 浮かぶ顔	誰も知らぬ あの場所 蒼き葉っぱに 蜘蛛の巣 友の明りし あの顔 もう会えぬ ふるさと	

良かった歌詞に○を付けてください。【選んだ理由】（ ）

♪ 皆で選ぼう 3年3組のふるさと ♪

3年 組 番 名前

帰りました ふるさと 懐かしいな ふるさと 山と川の ふるさと 落ち着きます ふるさと	小さな町の 夕暮れ 祖父と祖母の 温もり 幼き日々の 思い出 いつの胸に ふるさと	緑多し 故郷 変わりてゆく 街並み 今は風も 恋しき 未来進む 故郷	変わり果てた ふるさと 家だらけに 変わった 自然は壊され 近代化 忘れ難い あの頃	行ってくるよ ふるさと 我孫子の人 皆優し 手賀沼いずれは 輝いて 帰ってくるよ ふるさと
つひに帰る ふるさと 思ひ出が こみ上ぐ 山も川も 虚ろはず 居心地良し ふるさと	数々の 思い出 家族仲間 ある場所 ここが君の ふるさと 変わらない ふるさと	月日重ね 戻った 志を 叶えて 今も変わらぬ ふるさと 守るものは ふるさと	窓を見ると いつも通りの風景 7年ずっと同じ 景色 家を出れば 何もない いつも静かな ふるさと	遠くに見える 山々 夕焼け雲は 茜色 今も思い 浮かぶ景色 美しきや ふるさと
帰ってきた ふるさと 落ち着く ふるさと 感慨深い ふるさと 思い消えぬ ふるさと	ついに夢が 叶いし 急ぎ向かう 故郷 見れば涙 溢れる 何も変わらぬ 故郷	緑多い 夏の我孫子 冬になると 枯れ木に それでも春に になると 綺麗な桜の トンネル	夢の1つ 叶って 今日ここを 旅立つ 心の中の ふるさと 蘇るは ふるさと	思い返す 我が友 共に過ごして きた日 校舎に響く 笑い声 心癒す ふるさと
かの山や かの川 月日流れ 変じる 昔の思い出 頭に過る 久しからず ふるさと	綺麗な街並み ふるさと 大切な 久寺家中 手賀沼はいつでも 見守っている 思い出いっぱい ふるさと	色の褪せた この町 上を向いて 思えば この空の 向こうには 花が咲き誇る ふるさと	山や谷を 乗り越え 戻り来たよ 我孫子に 光輝く 手賀沼 心安らぐ ふるさと	胸膨らませ 列車で 皆の顔を 思い出す 帰って来たよ ふるさと 今も変わらず ふるさと
血のにじむ 努力で 長き夢を 果たした 父や母が 待ってる 今帰ろう ふるさと	残っているか あの場所 懐かしむ 思い出 友を過ごした あの夏の日 ありがたし ふるさと	志を 叶えて 懐かしの ふるさと 山も川も 空気も 帰ってきたよ ふるさと	朝起きれば 働き 夜帰れば 一人 誰とも話さず ご飯を食べて 思い返し ふるさと	ふるさとでの 思い出 ヤンキーとの 喧嘩 今は会社で 係長 十八番土下座 何でだ
何も変わらん この街 変わることはない この景色 友や家族の ぬくもり 心安らぐ ふるさと	移り変わる この街 色を添える 花たち 記憶も街も 色褪せぬ 誇り高き ふるさと	帰り来たり ふるさと 思い出す 思い出 今も前も 変わらず 懐かしき ふるさと	夢果たして 今こそ わがふるさと 帰らん どこにいても 思いは ここにありけり ふるさと	久しき町 帰りて 露の香り 懐かし 鳥も集う 手賀沼 ツツジ紅き ふるさと

良かった歌詞に○を付けてください。【選んだ理由】（ ）

♪ 皆で選ぼう 3年4組のふるさと ♪

3年 組 番 名前

心いつも 思い出す ずっと大切な 場所 不安で寂しく なる時も 笑顔のある ふるさと	夢を実現させ 故郷に戻る お父さんお母さん 元気で良かった 友達とも久しぶりの再会 思い出あるあの場所へ 何一つ変わらない 思い出の場所	錦を着て 帰らば 父母を支え 暮らさん 庭の小鳥や 野草も恋しい 心和む 故郷	志が 終わりにて 今歩いて ふるさと 木の葉赤き 山の葉 温かき我が ふるさと	今はコロナ 対策 ストレス溜る かもしれない でも今を 切り抜ければ 明るい世界 我慢する
ああ帰りたい 帰りたい いつの日にか 帰りたい ああ寒いああ暑い ああ涼しい 早く帰ろ きっとね	友達たくさん この町 色んな思い出が ある町 これからも思い出 いっぱい作ろう 私の大事な 故郷	今日は帰り ふるさと 今は思う さびしさ 夕暮れの中を 一人で歩く いつも心 ふるさと	夕日照らす 手賀沼 黄金光る 新墾田 あの日は青空 かけぬけ 風と進む ふるさと	朝焼け色の 空に 懐かしい においの地 空も星も 全てが 僕の心 ふるさと
窓を見れば マンション どこを見ても マンション 壁を挟み 人がいる いつも平和 ふるさと	桜芽生く 春先 自然豊か 広がる 時は常に 進みて 四季美しい ふるさと	帰りたいな ふるさと 子供のころを 思い出す 富士の雪解け 煌めいて 夏が近し ふるさと	心癒す ふるさと 変わらぬ味 懐かしい 思い出話に 浸かりながら いつも想う ふるさと	手賀の水も 輝く 緑溢れ 花咲く 夜空の花も 光満ちて 友の笑顔 集まる
春が終わり 葉桜 緑多し 初夏待つ 花が広がり 花畑 虹が見える 大空	幼き頃 遊んで 枯れ木の中に 失くした あのボタンは 今何処に 思い出すよ ふるさと	春に吹くよ 薄紅 五月晴れで 秋晴れ 冬に降るは 錦雪 ここは君の ふるさと	思い出づる 風花 小雪やうに 花笑 枯葉今も 待つ宵 溢しけけれ ふるさと	今も恋し あの空 遠く過ぎし この夢 願い叶わず 沈みて 帰り難き ふるさと
帰り難き ふるさと 富山の景色 美しかれ 若者は 旅立つだろう みんなの ふるさとから	今は一度 戻らばや いと 止む事無き方 私のただ一つばかりの かの方 思い出の詰りし 故郷へ	友と別れ 悲しく いつか会おう しくしく 皆好きだ 仲良し 忘れ難き 友達	春夏 秋冬 早く過ぎる 一年 ああ懐かしい ふるさと 帰りたいな ふるさと	ゆっくり沈む 夕日を 眺め浮かぶ 思い出 全て心に 留めて 思い寄せる ふるさと
懐かし日を 夢見て 昔のことを 思い出す 夢を見ていた あの頃 懐かしく思う ふるさと				

良かった歌詞に○を付けてください。【選んだ理由】（ ）

♪ 皆で選ぼう 3年5組のふるさと ♪

3年 組 番 名前

家の門を 潜りて 父母友 握手し ついに果たす 志 花は咲いて ふるさと	変わりゆく この街 古き文化 受け継ぐ 幸せ今も 目指して 平和願う ふるさと	夢を叶え 戻った 心染みる 団らん 家族の声 響いてる ずっと愛し ふるさと	課題多し 休校中 暇過ぎて 死にそう 夜には寝れず 昼夜逆転 アニメ放送 延期になる	昔恋し あの頃 今も 忘れない 時は今も 過ぎて 思い出す 故郷
夢叶いし 帰りにて 涙流す 父母 時は過ぎて 旅立つ 一歩踏み出す ふるさと	夢を叶え いざ故郷 父と母に 恩返し 友と語らい 笑い合い 心踊る ふるさと	遂に戻り ふるさと 久しければ 友がき 息災かな 父母 ここに生きる ふるさと	今に来たる 根戸森 狐たちを 憂ふ 筑波嶺見えて 申し上げる やはりいいな ふるさと	遠く見える 筑波山 緑生える 手賀沼 心は今も ふるさと 大切な場所 ふるさと
志を 果たした 今故郷 帰らん 思い出づる あの場所 皆の元へ 帰らん	町が一転 変わった 若者が 多い 全然違う 風景 戻ってきて ふるさと	沈んでいく 夕日に 見守られて 向かおう 小鳥歌う ふるさと 皆が集う ふるさと	大きな夢を 抱いて 今巣立つ 学舎 友との日々を 忘れずに 輝く我が ふるさと	夢を求め 追いかけ 戦ばかり この星 苦しみ希望を 失くしても 支え合おう ふるさと
笹なびき 夕暮れ 染めいく田が 揺れゆく 空は星に 埋もれゆく 懐かしき ふるさと	昔の恋 日々呼ぶ お日様の根 滲めば 見上げた横顔 包む木々の 君を思う ふるさと	若過ぎて 分からん ふるさとって 何だろう 佇む今の この場所か いつか知る日が 来るのか	遂に帰り 日が来た はよ帰らん 心底 今は想い 乗せ歩く 会いに行くよ ふるさと	花の匂い 漂う この景色も 懐かしい 自然が豊富で 緑豊かな 思い出のある ふるさと
帰っておいで 我が家に どんな時も 待ってる ここが君の ふるさと 愛へ帰ろ ふるさと	はるか見える 彼の山 流れ絶えぬ 彼の川 思い出今も 巡りて 今帰らん ふるさと	月が美しい ふるさと 友の声が 懐かしい 今でも夢に 浸かりながら 心にある ふるさと	夢果たし 故郷へ 幾日ぶりの 故郷 緑深き 故郷 思ひ出多き 故郷	志を 果たして 見えてきたは かの山 自然と笑みが こぼれる 早く会おう ふるさと
帰り行くよ ふるさと 天も気分も 爽快 道中盗賊に 襲われ 駆け巡る ふるさと	お菓子美味し のり塩 デブは食べる ポテチを 食って寝るの 繰り返し 忘れ難き うす塩			

良かった歌詞に○を付けてください。【選んだ理由】（ ）